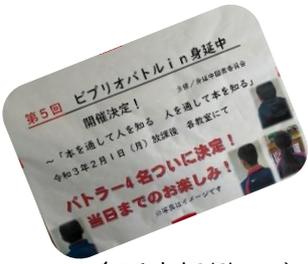


本を通して人を知る 人を通して本を知る

～第5回 ビブリアバトルin身延中～

身延中恒例のビブリアバトルが2月1日（月）に開催されました。今回も、自他共に認める読書好きの4名が、3分間という制限時間の中で、「一押しの本」について熱く熱くプレゼンを行いました。



廃部寸前の弱小吹奏楽部にさまざまな謎が押し寄せる!



第1バトラー S.Kさん(3B)
書名:「退出ゲーム」 初野晴(角川書店)



第2バトラー T.Gさん(3A)
書名:「キャン・ユー・スピーク甲州弁」
五緒川津平太(樹上の家出版)

紳士・淑女のみなさん!
甲州弁は奥が深い!

伏線でつながっている!とにかく泣けるし、3分では語り尽くせない!



第3バトラー M.Yさん(3A)
書名:「ブラックペアン 1988」 海堂尊(講談社)



第4バトラー H.Mさん(3B)
書名:「長浜高校水族館部」
令丈ヒロ子(講談社)

「水族館部」ってホント? とある高校のノンフィクション。



全校生徒・先生方による投票の結果、今年度の**チャンプ本**(最も読みたい本)は、第2バトラーが紹介した、「**キャン・キュー・スピーク 甲州弁?**」となりました。

今回は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、放送と動画視聴での開催でした。全校生徒は事前に録画されたプレゼン動画を各教室で視聴し、「投票」→「図書委員による開票」→「放送でチャンプ本発表」という流れで行いました。

これまでのように集会形式で全校で集まって空気を共有することはできませんでしたが、画面越しにバトラーの熱い思いにみんな釘付けでした。

全校生徒からは「バトラー、みんなカッコいい」「さすが3年生」「読みたい本が増えた」「来年は私も出場してみたい」という多くの感想が寄せられました。受験を控えた忙しい中出場してくれた4名、そして企画運営をした図書委員会メンバー、本当にお疲れ様でした。この経験はこれからを生き抜くために必要な力となるでしょう。



翌日の朝の会をのぞいてみると、自分が今読んでいる本で「読書でペアトーク」和気あいあい。楽しい時間が流れていました。「読書」が特別のことではなく、みんなの日常になっていることがうれしいです。

(2A教室にて)